

議員定数に関する意見交換会報告書

令和8年7月10日

深川市議会議長 近沢 弘幸 様

議会運営委員会
委員長 北村 薫

議員定数に関する意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

日 時	令和8年6月5日（金）10時00～11時30分
場 所	深川市役所4階 第一委員会室
テ ー マ	「議員定数について」

出席者

団 体 名	役 職 等	氏 名
深川市町内会連合会連絡協議会	会 長	関 良一
深川市シルバークラブ連合会	会 長	山田 圭二
深川市男女平等参画推進協議会	副会長	加藤 篤子
きたそらち農業協同組合	代表理事組合長	岩田 清正
きたそらち農業協同組合青年部 深川支部	地域振興部長	浅井 裕貴
深川市内 JA 女性部連絡協議会	会 長	谷口 博美
深川商工会議所	会 頭	廣野 勝利
連合北海道深川地区連合会	事務局長	谷中 晃

深川市議会運営委員会委員	北村 薫 委員長ほか4名
深川市議会議長	近沢 弘幸



近沢議長 挨拶要旨

深川市議会ではこれまでも自主的に議員定数の見直しについて議論を重ねてまいりました。前回、令和5年の市議会議員選挙が27年ぶりの無投票となったことや、市民の方から議員定数の削減を求める陳情が提出されたことを契機として、次期改選に向け、議員定数の在り方について改めて様々な観点から検討を進めております。



現在、本市では人口減少や少子高齢化が急速に進み、地域経済や公共交通、地域コミュニティの維持など、多くの課題が深刻化、複雑化しております。このような時代だからこそ、市民の皆様の声をしっかりと市政へ反映する議会の役割が重要であると考え、現時点では現在の定数14人を維持する方向で議論を進めているところでございます。

本日は、これまでの検討状況を御説明するとともに、皆様から忌憚のない御意見を頂戴し、今後の議論に生かしてまいりたいと考えております。結びに、御出席いただきました皆様に厚く御礼申し上げ、挨拶とさせていただきます。



— 出席者からの意見 —

議員定数に関して

- たくさんの議員に農業に対する思いを聞いてもらっている。定数を削減して少ない人数になるのは問題があるかなと思う。近隣市の状況等を鑑みても、現在の定数で引き続き農業に対する思いを聞いていただきたいと思う。
- 人口は減っていくが、人口比で考えると定数が多いとは感じられない。
深川市の地理的環境から考えて、削減は時期尚早ではないか。
多様性が求められる世の中であり、14名の議員の活動は深川市により必要になっていく。
- 議員定数をこれ以上減らすことがいいとは思わない。深川市は面積が広く、過疎化も進み一議員が移動する距離は広大である。面積を加味する必要がある。
- 他市とのデータを見ると定数を維持する方針でよいと思う。
- 市民の声を拾い上げてくれるのが議員であり、一人でも多くの声を拾い上げるという意味では、今の人数を維持していく方向でいいのではないか。
- 深川市が合併してから50年以上がたっている。産業構造も変わり人口も減っている。いろいろな組織で話をもっとまとめるなど、もっと合理化して、議員を少なくしても市民の意見は集約できるのではないか。
- 以前は常任委員会は4つあったが今は2つになっている。これ以上減らしたら委員会も一つになるのではないか。現状維持でお願いしたい。
- 深川市は面積が広く、農村部が点在している。そこで暮らす人の意見を聞くという意味でも今の定数を維持したほうがよいと思う。

議員のなり手について

- 後継者探しの話も地域で聞かれるが、若い世代から見ると議員は敷居が高い。議員活動を身近に感じられる、議員になりたいと思えるようなものを、議員をしている方から発信してもらいたい。
- 議員には市民や地域のために尽くす強い覚悟が求められるため、安易にやりますとは言えない。議員は必要だが、人のために走るという覚悟が持てない方が多いのだと思う。
- 周りに議員になられたらいいなと思う人もいるが、周囲の支援のようなものが足りず、なっても苦勞するだけというイメージがあると思う。若い世代が希望を持てる前向きな議会であればよいと思う。
- 議員に限らず地域や組織の代表を自ら志願する人は少なく、多くは周囲からの要請で出ていると思う。担い手を確保するには、適任者を急に求めるのではなく、我々が周囲を見ながら対話を通じて人材を育成する、そういった環境を作る必要がある。
- 必要なのは議員数ではなく、市民の意思を集約し地域課題を深く議論することである。空き店舗や中心市街地の衰退などの課題に正面から向き合い、子どもたちの将来も見据えた中身の濃い議論を議会に期待する。



その他

- 生活応援給付金だが、今後は商工会議所と連携するなどして市内で使える商品券にするなど、深川市内にお金が落ちるようにしたほうがよい。

北村議会運営委員長 挨拶要旨

本日は、長時間にわたり貴重な御意見を賜り、誠にありがとうございました。議員定数につきましては、市民の皆様からいただいた御意見を踏まえ、今後さらに議論を重ね、最終的な結論を出してまいりたいと考えております。

また、本日いただいた率直な御意見や御提言につきましては、議員一人一人が真摯に受け止め、今後の議会活動に反映していく義務と責任があると感じております。あわせて、若い世代や女性の皆様にも関心を持っていただき、多様な人材が活躍できる、開かれた議会づくりを進めていく必要があると考えております。

今後も、市民の皆様信頼される議会を目指し、議員一同努めてまいりますので、引き続き御指導、御助言を賜りますようお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

